

■ 河合塾テキスト「地理総合、地理探究（共通テスト対応）（2025 完成シリーズ）」演習問題 解説 ■

【第25講】

解答番号	正解	解説	重要度
1	②	② (イ)：正解。人口重心とは、人口1人あたりが同じ重さをもつと仮定した場合、その範囲内に分布する人口が全体として平衡を保つことのできる地点のことである。人口分布が変化した際には、人口重心は相対的に人口が増加した方向に移動すると考える。アメリカ合衆国では1950年から2010年にかけての時期には、人口増加率が南部や西部で相対的に高まったため、人口重心は南西方向に移動した。	★★
2	①	①：正文。北東部から五大湖沿岸にかけての地域は、20世紀前半まで、繊維工業、鉄鋼業、自動車産業などの工業生産の中心地域として発展してきたが、第二次世界大戦後は、日本やドイツなどの台頭により国際競争力が低下するなか、産業構造の転換が遅れたことから衰退し、現在はスノーベルト（フロストベルト）とよばれる。一方で、1970年代以降は、北緯37°以南の地域で工業化が進展し、サンベルトとよばれる。温暖な気候に恵まれ、安価な労働力と広大な工業用地を得やすく、州政府による産業誘致策なども加わり、工場はスノーベルトからサンベルトへ進出、移転するとともに、新たに情報通信技術（ICT）産業や航空宇宙産業などの先端技術産業も成長した。これらの工業立地の変化にあわせて、南部や西部で相対的に人口増加率が高まり、人口重心は南西方向に移動した。	★★★
3	⑤	テキサス州：ク。複数の大きな河川が流れるため、水源別割合では地表水の割合が大きい。また、ヒューストン、ダラス、フォートワースなどの工業都市を有し、製造品出荷額は全米50州中で最大となっており、使用目的別では工業用水の割合が大きい。ネブラスカ州：カ。同州が位置するグレートプレーンズには、オガララ帯水層とよばれる世界最大規模の地下水層が存在する。1960年代以降、この地下水を利用したセンターピボット方式での大規模な灌漑によるとうもろこしなどの飼料作物の栽培が増加し、フィードロットでの肥育による肉牛の飼育がさかんに行われるようになった。そのため、水源別割合では地下水の、使用目的別では農業用水の割合が大きい。一方で、内陸部で人口密度が低いため、生活用水の割合は非常に小さい。マサチューセッツ州：キ。東部で降水量が比較的多く、また、メガロポリスとよばれる都市化地域を含み人口密度が高いため、水源別割合では地表水の、使用目的別では生活用水の割合が大きい。	★★★

4	① サは、最寒月平均気温が18℃未満-3℃以上で、夏季に乾燥し最多雨月降水量が最少雨月降水量の3倍以上となっているため、地中海性(Cs)気候と判定でき、緯度40°。前後の西岸に位置するXに該当する。シは、最寒月平均気温が-3℃未満かつ最暖月平均気温が10℃以上で、冬季にやや降水量が少ないものの最多雨月降水量が最少雨月降水量の10倍以上とはなっておらず、年中平均した降水がみられるため、冷帶湿润(Df)気候と判定でき、緯度40°。前後の内陸に位置するYに該当する。また、両地点はほぼ同緯度に位置しているが、Xは臨海部で海洋の影響を受けるため、気温の年較差が比較的小さく、逆に、Yは内陸部で大陸の影響を受けるため、気温の年較差が比較的大きくなるという面に着目してもよい。Gは小麦の生産量が多いことから、ワシントン州と判定する。夏季は高温で乾燥し、冬季は比較的温暖で湿润な地中海性気候が卓越するため、コロンビア盆地で冬季の降水やダムによる灌漑用水を利用して、おもに冬小麦が生産されている。Hはテンサイの生産量が多いことから、ミシガン州と判定する。一般にテンサイの栽培は、冷涼少雨の気候が適するとされるが、光合成によって糖分を根部に十分蓄積させるためには、夏季の生育期間は20~25℃程度の気温が必要といわれる。また、秋季に降水量が少なく気温が低下すると糖分濃度が上昇するとされる。ミシガン州は内陸部に位置するため、雨温図Yのとおり、気温の年較差が大きくテンサイの栽培条件に適するともいえる。	★★
5	① タとチを比較すると、J、Kともにチのほうがアジア系の割合が高いため、西部太平洋岸地域に位置するワシントン州、タがミシガン州と判定できる。そして、タ(ミシガン州)のKは、アフリカ系の人口割合が約8割を占めるが、これが中西部に位置するミシガン州全体の人口割合とは考えられず、Jが州全体、Kが人口最大都市と判定できる。ミシガン州の人口最大都市のデトロイト市では、20世紀初頭以降、自動車関連産業が発展し、その低賃金労働力としてアフリカ系住民が南部から流入した。第二次世界大戦後はヨーロッパ系住民が郊外に流出したこともあり、アフリカ系の人口割合が非常に高くなっている。	★★
6	② まず、ムは、相対的に所得水準が低いアフリカ系(黒人)の居住割合が高い南部や、発展途上国からの移民であるヒスパニックの居住割合が高いメリシコと国境を接する南西部などで高位となっていることから、貧困水準以下の収入の人口の割合と判定できる。次に、マについては、都市人口率の高低と類似する関係にある。外国からの移民は、雇用機会の多い都市部に職を求めて流入するため、都市人口率の高い州では外国生まれの人口の割合も高くなると考えられる。一方で、ミについては、都市人口率の高低とは逆の関係にある。都市人口率の高い州では、地価の高い都市部に人口が集中しており、住宅の価格も高くなるため、持ち家率は低くなると考えられる。	★★
7	④ ②: 正文。空欄ラについては、図5より、2012年、2016年ともに民主党の候補者が選挙人を獲得した州は、ニューイングランドや西海岸に多いことが読み取れる。空欄リについては、設問の文章から、グローバル化の影響で衰退した五大湖沿岸の地域の製造業について、共和党の候補者が主張した政策の内容が入り、また、この政策の主張によって、五大湖沿岸の地域において共和党の候補者が住民から支持を集めたということが読み取れる。五大湖沿岸の地域はグローバル化の影響で、鉄鋼業や自動車工業などの製造業が衰退し雇用環境が悪化している。仮に、「移民労働力を増やす」政策を行えば、さらに雇用環境が悪化し失業率が上昇することになるため住民の支持は得られない。逆に、「工場の海外移転を抑制する」政策を行えば、雇用が確保されるため住民の支持が得られると考えられる。	★★

8	④	④：誤文。Dの地域は、温暖湿潤（Cfa）気候が分布するため、熱帯雨林はみられない。①：正文。Aの地域は、乾燥帶（B）が分布するため、植生に乏しい。グレートベースンとよばれる盆地となっている。②：正文。Bの地域は、冷帶湿潤（Df）気候が分布するため、針葉樹の純林であるタイガがみられる。③：正文。Cの地域は、ステップ（BS）気候や温暖湿潤気候が分布するため、丈の低い草原がみられる。グレートプレーンズとよばれる台地状の大平原がひろがる。	★★
9	③	ア：③。最寒月平均気温が -3°C 以上 10°C 未満、夏季に乾燥し最多雨月降水量が最少雨月降水量の3倍以上となっており、地中海性（Cs）気候に該当する。地中海性気候は 50° 線と回帰線間の大陸西岸に分布する。北アメリカ大陸西岸は、暖流の影響が小さく、緯度 50° 付近まで地中海性気候が分布する。 イ：②。内陸部の乾燥帶にあたるため、気温の年較差が大きく、降水量も少ない。 ウ：①。最寒月平均気温が 18°C 以上となっており、熱帶（A）気候に該当する。アメリカ合衆国本土における熱帶気候は、フロリダ半島南部のみにみられる。気温が高いうえ周囲は暖流が流れる海域であるため、降水量も多い。 エ：④。最寒月平均気温が -3°C 未満、最暖月平均気温が 10°C 以上、年中平均した降水がみられ、冷帶湿潤（Df）気候に該当する。冷帶湿潤気候は、北半球の緯度 $50^{\circ} \sim 60^{\circ}$ 付近に分布する。	★★★
10	⑥	ス（1914年）。20世紀初頭には北東部や五大湖周辺で重工業が発展した。シ（1958年）。北東部や五大湖周辺以外の地域でも工業化が進展した。サ（2009年）。五大湖周辺の重工業は停滞、衰退しラストベルトなどとよばれる一方、南部は工業化が進展しサンベルトとよばれるようになった。	★★
11	④	F：カナダ。G：アメリカ合衆国。カナダの貿易相手国に占めるアメリカ合衆国の割合は非常に高い。タ：1995年。チ：2015年。この期間において、アメリカ合衆国の輸入相手国として中国の割合が急増した。	★★
12	②	スペイン語：マ。中国語：ム。両者ともに割合は増加しているが、スペイン語圏からの移民であるヒスパニックのほうが人口数が多いため、スペイン語を話す人の割合のほうが高い。フランス語：ミ。カナダではケベック州などでフランス系の住民が多く、フランス語を話す人の割合が相対的に高い。	★★★